（参考） 新たな産業創出に係る国の動き

■福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想研究会　報告書（平成 26 年 6 月 23 日公表）の概要

○研究会の概要

・政府は「福島・国際研究産業都市構想（イノベーション・コースト）研究会」を平成26年１月に設置。

・原子力災害現地対策本部長の赤羽一嘉経済産業副大臣の私的懇談会という位置づけで、産学官の有識者が参加。

・本研究会は、今もなお避難されている原発地域の住民の方々に対し、新たな魅力ある雇用の場を創出することで、自立の一助となるべく検討を実施（計７回、H26.6.23 に報告書公表)。

・「原子力災害からの福島復興の加速に向けて」(H25.12.20 閣議決定)において「双葉郡を始めとする避難指示区域の中長期・広域の将来像」の検討を始めることとされており、本構想はその検討と一体的に検討を進め、更なる具体化を図ることとし、主要プロジェクトについては、関係省庁、福島県、関係市町村、関係企業からなる詳細を設計するための枠組みを設置し、分野別に検討を進めることとされている。

主要プロジェクト			概要
廃炉へのチャレンジ	Ⅰ福島第一原発の廃炉を加速するための国際的な廃炉研究開発拠点の整備	①放射性物質分析・研究施設の整備	燃料デブリ（燃料と被覆管などが溶融し再び固まったもの）や放射性廃棄物などの分析・研究施設
		②国際的な廃炉研究開発拠点に向けて	世界的に貴重な物証である燃料デブリを扱う本施設は当地ならではの研究が発展する核となる可能性や、将来的には希少金属のリサイクルやがん治療薬の開発などに発展の可能性あり
	Ⅱロボットについての研究・実証拠点の整備	①モックアップ試験施設（屋内ロボット）	原子炉格納容器下部の漏えい箇所を調査・補修するロボット等の開発、実証試験、燃料デブリ取出しに係る機器・装置開発、実証試験等
		②福島ロボットテストフィールド（屋外ロボット）	廃炉や災害対応のための総合的なロボット研究・実証拠点
		③ロボット競技会の開催	課題解決型の競技コンテスト（原発事故における初動対応、災害現場における救助活動等）、一般の方向けのイベント（NHK ロボコン、ロボット教室等）
新しい産業基盤の構築	Ⅲ国際産学連携拠点の整備	①国内外の研究機関のための国際的な産学官共同研究室	基礎的・基盤的な研究ができる共同研究室（汚染環境、環境回復、農林水産業の復興、ロボット技術、社会科学、住民健康確保につながる医学研究、廃炉・汚染水の問題解決等）
		②大学教育拠点	復興の実践的指導・講義を行う教育拠点（参加大学の授業の共有・単位互換など）
		③廃炉人材や国際原子力人材の育成を目的とした技術者研修拠点	技術者研修拠点（廃炉の現場を活用した、廃炉人材や国際原子力人材の育成）
		④原子力災害の教訓・知見を継承、世界に発信するための情報発信拠点	福島原子力事故・廃炉資料館、情報発信拠点
	Ⅳスマート・エコパークの整備、エネルギー関連産業の集積	①スマート・エコパークの整備	廃棄物のリサイクル・復興資材の供給、最先端のリサイクル事業、バイオマスエネルギープラントによる地域への熱・電気の供給
		②エネルギー関連産業の集積	LNG(液体天然ガス）受入基地に関連した産業の集積(受入基地：JAPEX,,相馬港)、高効率石炭火力発電(IGCC)に関連した産業の集積(発電所：東電,広野火力発電所/勿来共同発電所)、新たなエネルギー関連産業の創出(メガソーラ、浮体式洋上風力発電、水素エネルギーの供給、藻類バイオマス大量生産、地中熱活用の住宅や農業施設の整備等)
	Ⅴ農林水産分野における新産業創出	①原災地域における新しい農業の研究・実証	新たな品目の導入（燃料資源作物-飼料作物、観賞用作物等)、大規模施設園芸の導入、情報通信技術やロボット技術を活用したスマート農業
		②水産研究拠点の構築	情報通信技術や人工衛星等による水産資源管理と漁獲最適化、閉鎖型循環養殖や陸上養殖等
		③新たな木材需要の創出	CLT(直交集成板)の普及、県産材 CLT を活用した国際産学連携拠点・復興公営住宅・オリンピック関連施設の整備、木材の放射性物質の低減・除去の研究、木質バイオマス発電の導入等

■東電、JAEA 等の計画施設 配置図（出典：東京電力「資料５　福島復興に向けて」第２回研究会）

[福島第一の構内または隣接地※]
分析センター

[大熊町]
給食センター

[未定]
福島原子力事故・廃炉資料館

[楢葉町]
モックアップセンター

[広野町･いわき市]
世界最新鋭高効率石炭火力

構想
(仮称)D ヴィレッジ (Development Village)
＋
(仮称)E ヴィレッジ (Eco Village)

凡例：事業主体
- 東京電力
- JAEA
- 他の事業主体（未定）

※分析センター施設の一部について、より低線量かつ主要な施設からのアクセスが良好な他の場所に整備することも同時に検討

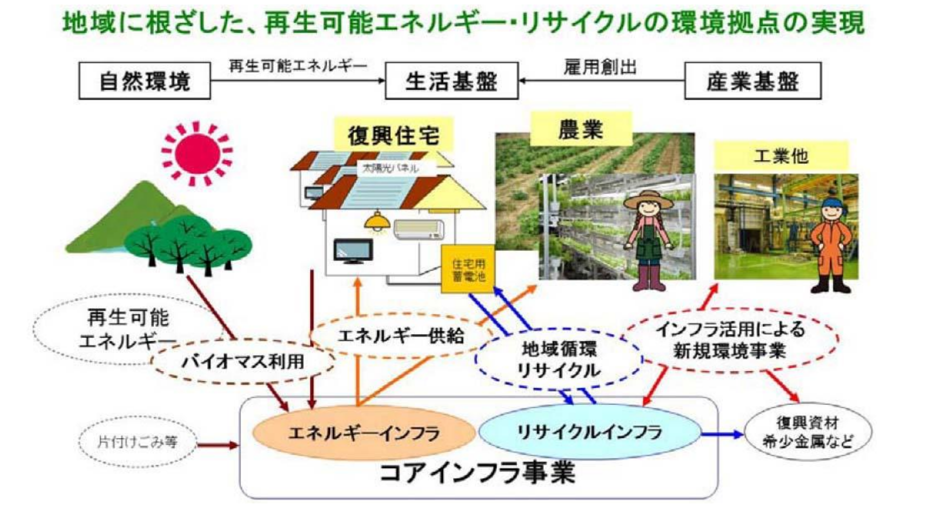
■D ヴィレッジのイメージ

廃炉関連施設、中間貯蔵施設等を有機的・統合的に機能させるための国際産学連携拠点

■E ヴィレッジのイメージ

復興・インフラ整備（道路、港湾等）に活用できるリサイクル資材を供給
産業振興施設（野菜工場等）にエネルギーを供給

※JAEA：日本原子力研究開発機構

■放射性物質分析・研究施設の研究イメージ

■スマート・エコパークのイメージ